

アセンション日記 (2013年～2014年)

2014年2月3日

「愛して護る」

天野照子

8月の眩しい日の光の中に立ったとき、そこはこの世のものとは思えない美しさでした。ある古い神社の森、その空間は、太陽の中にいるようでした。この中にすべてがある。Ai先生よりそういうメッセージを伝えていただきました。あふれるフォトンの光が、木々、鳥の声、土、すべての生命を生き活きと輝かせていました。たとえようのないまばゆさ、生命への愛おしさ。もし地上に高天原があったとしたら、このように遍く照らされる光で目を開けていられないのだろうかと思いました。このとき、地上のすべてがこのような世界になりますように、と祈り、願う自分がありました。そして、その願いは、ずっと自分の中心にあったことに気づきました。人間だけでなくすべての存在が、生命を輝かせて、本来の姿で生きられる世界。すべてに魂の光があり、あふれる愛を互いに贈り合う世界。地球がそのような愛の星になることを子供時代から夢見ていたことを、改めて思い出しました。今、その夢を夢物語ではなく、叶えようとしている。そう思うと、なんて幸せなのだろうと喜びと感謝の気持ちがあふれてきました。この日は、私にとって新しく生まれ直した日だったと思います。

2013年10月には、伊勢神宮の遷宮があり、多くの人が遷宮を見て、日本人とし

ての誇りや神聖さや感じたと思います。私も、遷宮を実際に見て、その神聖さに心を打たれ、日本の美しさ、古来より続く素晴らしさに改めて感動し、日本人としての魂を感じましたが、同時に、究極の愛があることも見つけました！それは、すべての存在を愛して護るという揺るぎない熱い愛でした。その愛があるからこそ、すべての存在が生きていける。愛こそが生命のエネルギーであり、すべてを生みだした源であること。愛して護るということは、自分のもっとも大切なものが何であるかを知ること。そう思ったとき、すべての生命と地球とこの宇宙を、愛して、愛し抜こうと、改めて、決意しました。どのようなときも、どのようなものに対しても、毎瞬、自分が愛となって、つねに愛を贈り続けること。自分のハートの中心にある核といえる想いは、揺るぎなく変わることなく、熱く、赤く、輝いています。その愛は、自己の中心にあるだけでなく、つねに中心から発せられており、自己の細胞の隅々にまで浸透する強さがあり、私はそれを自己の内に見つけたのでした。それが2013年の私のアセンションでした。

この愛を、伝えたい。誰もがこのような想いを持っているはず。一人でも多くの人とその愛を共有したい。2014年になった今、心からそう願っています。それは、魂からの願いであり、そう願うとき、自己の魂が震えるのを感じます。すべての存在が愛を持ち、すべての存在が幸せになるように、つねに毎瞬、愛を伝えていこうと思います。愛して護る、とは、私にとってこういうものなのだと、再認識をしました。

愛は贈れば贈るほど、大きくなり、ハートの中で増えていきます。愛は尽きるこ

となく、無限であり、どこまでも、深く、拡大していきます。この心からの願いを、真に、やっているとき、自己の愛が宇宙大まで広がって深まっていくことを感じています。それは、自己という範囲の境界線がなくなり、自己の核心において、すべてと愛でつながっていく感覚です。いついかなるときも、自己のすべてを愛にして、すべての存在に最大で究極の愛を贈ります。

愛と感謝を込めて∞